

古い写真



①石狩河口ノ景（北海道大学蔵）

今、石狩市では「二十一世紀に伝える写真集」を編集中で個人や機関が所蔵している写真を調査しているところだ。北海道で最も古い写真は、一八五四年（嘉永七年）函館にきたペリー艦隊が撮影した写真だといわれていますが、石狩市で一番古い写真はどんなものだろうか。今回は石狩市で撮影された明治の写真を紹介してみよう。

写真の①は「石狩河口ノ景」と呼ばれる明治十二年撮影の写真で、本町地区から河口に向って写したものです。この写真は北大図書館などに所蔵され、古くから有名な写真でかなり長い間、市内で一番古い写真という事になっておりました。

しかし、七年ほど前、先代の八幡神社の宮司さんが偶然、「石狩河口ノ景」より、古い②の写真を発見しました。この写真は、燃やして欲しいといわれて預かった書類のなかに紛れてあったものです。写真は幸運なことに裏に撮影の明治十年の年号と主だった人物の名前の書き込みがありました。これは市内で最も古い写真というだけでなく当時の石狩市の人々を知る手がかりとしても貴重なものとなりました。ちなみに写真前列、向かって左端の人物は当時の名主、岩田甚兵衛（いわたしげえい）です。

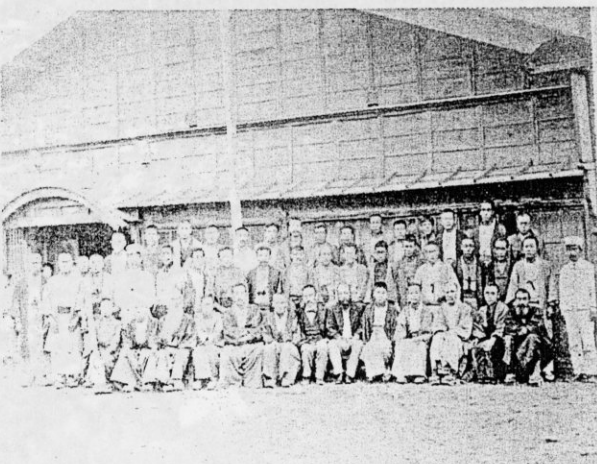
また、最近では本町の中島家からは明治三十年代かと思われる一枚の写真③が発見されました。この写真は本町地区の旅館前で撮影された集合写真で、

五十名近い人々が写っています。おそらく明治期の集合写真では最多の人物がいるものと思われます。写真が何を記念して撮影されたか調査中ですが、中島家からでてきたところから考えて俳句結社「尚古社」（しょうこしゃ）の行事の可能性も考えられます。もしかすると秩父事件の伊藤房次郎（いとうふさじろう）こと井上伝蔵（いの上でんぞう）も写っているのではないかと注目されています。

紹介した写真はいずれも石狩市の明治の歴史を知る上で大切に、長く伝えていきたいものです。また、このような古い写真でなくとも花川団地などの初期の町並みなどの写真をお持ちでしたらお知らせください。（石橋孝夫）



②明治十年の写真（石狩八幡神社蔵）



③中島家から発見された写真（中島勝久氏蔵）

歴史のドアを開けよう
Natural History 第22回
いしかり博物誌

■文化財・博物館開設準備室 ☎72-6123

e-mail:bunkazaih@city.ishikari.hokkaido.jp